

## 「さんべでミルクさんまい! ①②」

### 1 趣 旨

- ・「生産→加工→消費」のストーリーを取り入れた活動を通して、より充実した体験活動を楽しむ。
- ・地域資源を生かした体験活動を通して、親子が三瓶地域の魅力や体験活動に興味・関心をもつ。
- ・家族同士で関わりながら活動できるようにすることで交流を図る。

### 2 事業の概要

#### (1) 期間

- ① 令和5年7月22日(土)～7月23日(日)【1泊2日】
- ② 令和5年9月2日(土)～9月3日(日)【1泊2日】

#### (2) 会場

国立三瓶青少年交流の家・福間牧場

#### (3) 協力

福間牧場(チチヤス株式会社)

#### (4) 対象

- ① 幼児・小学校低学年向け
- ② 小学校高学年向け

#### (5) 参加者

① 48人 ② 39人 ※募集人数: 各回15家族40人程度

#### (6) 日程・内容

##### ① さんべでミルクさんまい! (幼児・小学校低学年向け)

7/22 (土)	10:30 11:30		12:45		16:00 19:00		20:30 22:30	
	受付	はじめの会	昼食	<b>牧場見学&amp; ヨーグルトパック絵付け体験</b> ・牧場で見学とえさやり体験等 ・ヨーグルトパックの絵付け	夕べのつどい	夕食・入浴	<b>ヨーグルトづくり</b> ・牛乳を使ったヨーグルトづくり	就寝準備
7/23 (日)	6:30 7:00		7:30 9:00		9:30		10:30 11:00	
	起床	朝のつどい 清掃	朝食	退所点検	<b>ミルク教室</b> ・牛乳に関連するクイズ ・自分で作ったヨーグルトの試食	おわりの会		

② さんべでミルクさんまい！（小学校高学年向け）

9/2 (土)	10:30	11:15	13:00	17:30		19:00	20:30		22:30
	受付	はじめの会	昼食	<b>牧場見学&amp;ミルク教室</b> ・牧場見学とえさやり体験等 ・牛乳のクイズ		夕食・入浴 夕べのつどい	<b>選択活動</b> ①牧場見学 ②ゆっくり過ごす〈交流の家 所内〉 ③天体観察会〈三瓶自然館サヒメル〉		就寝準備
9/3 (日)	6:30	7:00	7:30	8:40	9:00	14:00		14:30	
	起床	朝のつどい	清掃	朝食	退所点検	<b>シチューづくり&amp;はなまるパン作り</b> ・「三瓶高原牛乳」を使ったアウトドアクッキング		おわりの会	解散

3 事業の特色

(1) プログラムデザインと企画のポイント

- ・本事業は、スタートしてから令和5年度で6年目になる。参加者の声や以前担当した職員の話を受けて、事業の参加対象を変えて2回実施することとした。1回目を幼児・低学年向けに設定したため、野外炊飯に比べてより簡単に作ることができる「ヨーグルトづくり」を取り入れた。
- ・毎年度抽選を行うほどの人気事業であるが、牧場見学が可能な人数に限界があるため、参加人数を増やすことができなかった。しかし、少しでも多くの家族に参加してほしいという思いから、牧場主の福間氏と相談し、幼児でも集中して体験できる「ヨーグルトパック絵付け体験」と「牧場見学」を半数ずつ入れ替えて行うことにより、参加募集定員数を昨年度よりも5家族多く設定することができた。
- ・「ミルク教室」は、1回目と2回目の内容を変更し、参加者に応じた手段で実施をすることでより深い学びにつながった。具体的には、1回目は、チチヤス株式会社自作のかるたを行い、楽しみながら牛乳について学ぶことができた。2回目は、小学5年生が学校で習得する「食糧生産」について触れることで学びに関連を持たせた。

(2) 運営のポイント

- ・この事業は、チチヤス株式会社の若手社員育成の機会でもあるため、例年度に比べてチチヤス株式会社の社員が指導する場面を多く設定することにより、社員にとっても学びの機会とした。
- ・子供たちが意欲的に参加する工夫として「お助け隊」を募集し、手助けが必要なところには積極的に参加できるようにした。
- ・1回目は7月に開催したため、暑さが厳しかった。とりわけ実施日の気温は高く、外での牧場見学については、幼児の体力と集中力がもたないと判断し、早めの帰所とシャワー使用の案内を行うことで臨機応変な対応を心掛けた。

## 4 参加者へのアンケート結果

### (1) 第1回目アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	78	21	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

### (2) 第2回目アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	92	7	0	0
プログラム	92	7	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

### (3) 参加者の声

#### 【さんべでミルクさんまい! ①】

- ・前回と比べて時間に余裕のあるスケジュールだったので、子供たち(小1・小3)も無理なく楽しむことができました!
- ・「あいさつ」「時間」に意識付けができていませんでしたが、この2日間で少しだけですが意識付けができたと思います。
- ・食べ物の生産者やその思い、環境を直接見たり聞いたり触れたり感じたりできる体験は、感謝の気持ちにもつながりとてもよいと感じました。
- ・暑い時期なので、長時間屋外にいる体験が心配だった。
- ・我が子からの質問が出なかったのも、もっと事前に予習し、興味関心を高めて質問したいことを考えて参加できればよかったです。2日目の学習を1日目にしたかった。

#### 【さんべでミルクさんまい! ②】

- ・子供の成長する姿にびっくりしました。体験の内容や施設のルールそのすべてに子供の支えになる要素があったのだろうと感じました。
- ・牛乳の貴重さについて、身をもって知ることができました。子供たちも友達が増えて楽しそうでした。
- ・牛乳をありがたくいただくという気持ちになりました。

## 5 成果と課題

### 《成果》

- ・参加対象を分けてターゲットを絞ったことにより、更に深い学びにつながったことがアンケートから読み取れる。今後も、参加対象を分けて募集を行いたい。
- ・今回の事業に参加したことにより、夏休みの自由研究につなげた家族がいた。事業後も継続して学び続けることができる事業となったことは、成果であると感じる。今後も、子供たちへの学ぶ意欲を育てることができる事業を企画したい。
- ・牧場主の思いを聞いたり牧場見学に行ったりしたことにより、ふだん何気なく飲んでいる牛乳について、「ありがたくいただきたい。」という声が多くあった。近年の社会情勢の影響でえさ代が高騰していること、牛乳が出荷されるまでにたくさんの人が関わっていることなどを直接聞くことにより、食糧生産について考えるきっかけになったと感じる。

《課 題》

- 1回目の7月開催は、暑さの影響で体調不良者が出ないか心配であった。小さい子供が多かったため、早めに帰ることやシャワーの使用について積極的にアナウンスをした。来年度は、暑さが気にならない日程で実施したい。
- コロナ禍の開催から、感染防止のためにパン作りは1家族で行っていた。しかし、参加人数の少ない家族はパンが余ってしまうことが多く、課題となっていた。また、家族同士の交流の機会をより確保するためにも、次回開催はコロナ禍前に戻し、複数家族で作ることができるよう検討したい。

さんべでミルクざんまい！①



牧場見学



ヨーグルトパック絵付け体験



ヨーグルトづくり

さんべでミルクざんまい！②



ミルク教室  
酪農家さんからのお話



夜の牧場見学



アウトドアクッキング

(担当：事業推進係長 渡邊 絵里子)